九日、月	 丁業高等	 事門学校	開講年度 令和03年度 (2	2021年度)	授業科目	 材料力学 I				
科目基础		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	13213 1 32 1 32 1 32 1 32 1		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
科目番号	ZII JI IX	0039		科目区分	専門 / 必修	,				
授業形態		講義		単位の種別と単位						
開設学科		システム	制御情報工学科	対象学年	4					
開設期		前期		週時間数	前期:2					
教科書/教	(材		5学ぶ材料力学(森北出版)							
担当教員		阿部 晶								
到達目標										
2.組合せる 3.せん断る 4. はりの	部材の軸力。 荷重を受ける せん断力,	と変形が計算 る部材の応力	で受ける部材の応力と変形が計算できる 算できる. pと変形が計算できる. ントが計算できる.							
ルーブ!	ノック			標準的な到達レベ		未到達レベルの目安				
			断面が一様な棒,さらには,断面							
評価項目1			が連続的に変化する棒の応力と変形が計算できる.	断面が一様な棒の 算できる.	の応力と変形が計	断面が一様な棒の応力と変形が計 算できない.				
評価項目	2		組合せ部材の軸力と変形が計算できる.	組合せ部材の軸力	が計算できる.	組合せ部材の軸力が計算できない ・				
評価項目	3		単純な部材のせん断応力が計算できる. 丸棒の応力とねじり角, さらには, 不静定ねじり問題を解くことができる.	単純な部材のせんきる.	断応力が計算で	単純な部材のせん断応力が計算で きない.				
評価項目4	4		はりのせん断力,曲げモーメント を正確に計算できる.	はりのせん断力, を計算できる.	曲げモーメント	はりのせん断力, 曲げモーメント を計算できない.				
学科の致	到達目標耳	項目との関	係							
学習・教育	育到達度目	標 システム	制御情報工学科の教育目標 ② 学習・教	女育到達度目標 本科	4の教育目標 ③					
教育方法	去等									
概要			での軸方向に荷重を受けるときの挙動に 所有重を受ける部材の応力とひずみの定 可重を受ける部材(はり)のせん断力と							
授業の進む	め方・方法	機械, そ できる能	での他の構造物に、力が作用したときに 対を養うために材料力学の基礎的事項 の授業までに提出すること	生じる応力と変形の	り力学について学ぶ	ぶ、安全で合理的な構造物の設計が				
注意点		・・の・こ・半の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・こ・単一の・この・この・この・この・この・この・この・この・この・この・この・この・この	・教育プログラムの学習・教育到達目標はA-2, D-1, D-2とする. ・総時間数45時間(自学自習15時間) ・自学自習時間(15時間)ついては, 日常の授業(30時間)のための予習復習, レポート課題の解答作成時間, 試験のため D学習時間を総合したものとする。・ ・評価については, 合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合, 各到達目標項目の到達レベルが標準以上である こと, 教育プログラムの学習・教育到達目標の各項目を満たしたことが認められる。・ ・単に公式を丸暗記するのではなく, 公式の背後にある理論と公式導入の過程を大事に学習する. 材料力学の基礎を確 同に身につけ, 具体的な設計計算に応用できる力と, さらに高く深い内容について独力で学べる土台を造ることに留意 はる。							
授業の履	属性・履何	多上の区分	}							
□ アクティブラーニング		ニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
授業計画	———	_	1							
		週	授業内容		週ごとの到達目標 					
		1週	引張と圧縮 (1) 応力とひずみ	J	応力とひずみを説明できる.					
		2週	(1) 応力とひずみ		フックの法則を理解し,応力とひずみの計算ができる					
前期	1stQ	3週	(2) 組合せ棒の応力と変形		組合せ棒の軸力と変形の問題が計算できる.					
		4週	(3) 棒の引張りと圧縮	; i	棒の自重よって生じる応力とひずみを計算できる. 断面が変化する棒について, 応力と伸びを計算できる.					
		5週	(4) 熱応力		熱応力の計算ができる.					
		6週	(5) 不静定問題		両端固定棒や組合せ棒などの不静定問題について, 応力を計算できる.					
		7週	(1) せん断応力とせん断ひずみ		せん断応力とせん断ひずみの定義が理解できる. せん断力を受ける部材のせん断応力が計算できる.					
		8週	中間試験		これまで学んだ内容について, 試験で確認する.					
		9週	(2) 丸棒のねじり		丸棒および中空丸棒について,断面二次極モーメント と極断面係数を計算できる.					
		10週	(2) 丸棒のねじり	;	ねじりを受ける丸棒のねじり角とせん断応力を計算で きる。					
	2ndQ	11週	(3) 伝動軸		動力を伝達する回転軸の応力とねじり角が計算できる					
		12週	(4) 不静定ねじり部材		: 両端が固定された丸棒等の不静定ねじり部材の応力が 計算できる.					
		13週	はりの曲げ		はりの定義や種類, はりに加わる荷重の種類を説明で					
		1505	(1) はりについて		<u>්</u> දින්					

	1	4週	(2) t	せん断力と曲	 けモーメント 片持ちはりのせん断力および きる。 両端単純支持はりに作用する および曲げモーメントを計算		断力および	る力のつりあい, せん断力		
	1	.5週	(2) t	せん断力と曲						
		6週	1	未試験	これまで学んだ内容について			_, 試験で確認する		
モデルコス	アカリキュ	ュラムの)学習	内容と到	主目標				1	
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目	標			到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	物理		力学	フックの法則を用いて、弾性力の大きさを求めることができる。		3			
	HWGLL	1///-			力のモーメントを求めることができる。		3			
				機械設計	軸の強度、変形、危険速度を計算できる。		4	前11		
				力学	力は、大きさ、向き、作用する点によって表されることを理解し 、適用できる。		4			
					一点に作用する力の合成と分解を図で表現でき、合力と分力を計 算できる。			4		
					一点に作用する力のつりあい条件を説明できる。			4		
					力のモーメントの意味を理解し、計算できる。			4		
					偶力の意味を理解し、偶力のモーメントを計算できる。			4		
					着力点が異なる力のつりあい条件を説明できる。			4		
					荷重が作用した時の材料の変形を説明できる。			4	前1	
					応力とひずみを説明できる。			4	前2	
					フックの法則を理解し、弾性係数を説明できる。			4	前2	
					両端固定棒や組合せ棒などの不静定問題について、応力を計算で きる。			4	前3	
専門的能力	分野別の専 門工学	見 機械系	5分野		線膨張係数の意味を理解し、熱応力を計算できる。			4	前5	
	 [] 土 子				引張荷重や圧縮荷重が作用する棒の応力や変形を計算できる。			4	前3	
					ねじりを受ける丸棒のせん断ひずみとせん断応力を計算できる。			4	前10	
					丸棒および中空丸棒について、断面二次極モーメントと極断面係 数を計算できる。			4	前9	
					軸のねじり剛性の意味を理解し、軸のねじれ角を計算できる。		4	前10,前12		
					はりの定義や種類、はりに加わる荷重の種類を説明できる。		4	前13		
					はりに作用する力のつりあい、せん断力および曲げモーメントを計算できる。		4	前15		
					各種の荷重が作用するはりのせん断力線図と曲げモーメント線図 を作成できる。			4	前14,前15	
					曲げモーメントによって生じる曲げ応力およびその分布を計算で きる。			4		
					各種断面の図心、断面二次モーメントおよび断面係数を理解し、 曲げの問題に適用できる。			4		
					各種のはりについ	ヽて、たわみ角と	たわみを計算できる。		4	
評価割合										
試験			課	題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合語	†
総合評価割合 7		75 2		5	0	0	0	0	10	0
基礎的能力 25		25 10)	0	0	0	0	35	
専門的能力 50		15		5	0	0	0	0 65		
分野横断的能力 0			0		0	0	0	0	0	